

## てんかん患者の短期・長期予後の後方視的研究への協力のお願い

### 1.研究の対象

沖縄赤十字病院でてんかんの薬物・手術治療を受けた全症例

### 2.研究の意義・目的

てんかんは人口の約 1%の方が発症する common disease である。一方で、てんかんの原因は遺伝疾患、構造的疾患(皮質形成異常、海馬硬化症など)、感染症、自己免疫性脳炎、脳卒中、脳腫瘍など多岐に渡り、発作型も多種多様である。従って、一口に“てんかん”と言っても、その病態は千差万別であり、患者ごとに治療内容は異なる。当院は 2018 年に沖縄県のとんかん支援拠点病院として指定され、てんかん外科を行っている県内唯一の施設である。当院の治療成績を分析し、問題点を抽出することにより、県内のとんかん診療を改善し、患者の治療満足度を向上させることを目的とする。

### 3.研究に用いる臨床情報

当院で既に保有している患者さんの試料・情報を用いて行う。

試料:血液、髄液、手術時に切除した組織 等

情報:年齢、性別、発作症状、血液検査データ、画像検査データ、生理機能検査データ、手術動画 等

### 4.個人情報の取り扱い

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用しない。また、研究発表時にも個人情報は使用しない。その他、「人を対象とする医学系研究に対する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努める。

### 5.問い合わせ先

対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解頂きますようお願い申し上げます。この研究への参加(情報提供)を希望されない場合は、情報の使用について停止することができます。参加を希望されない場合、あるいは研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。なお、本研究への参加を拒否されても不利益は一切生じません。

### 研究責任者及び代表者

沖縄赤十字病院 脳神経外科 饒波正博

TEL: 098-853-3134